

平成 27 年 度

小学校教員資格認定試験

教職に関する科目 (I)

注 意 事 項

受験者は、下記注意事項によること。それ以外の注意事項は試験実施大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 実施大学名、氏名、受験番号、受験科目を平成 27 年度「幼稚園・小学校教員資格認定試験 解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号、受験科目をマークしてください。
ただし、受験科目のマークについては、小学校の欄にマークしてください。
4. 解答カードの中で特に受験番号、受験科目の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、すべて解答カードの解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず鉛筆を使用して、枠内にきちんと記入してください。
訂正する時は、消しゴムで完全に消してください。また、解答カードを曲げたり折ったりしてはいけません。
解答カードが汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に解答カードの交換を申し出てください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 70 分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。 [マーク例]
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。 (よい例) ●
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。 (悪い例) ⊗ ⊗ ⊗ ⊗

問 1 次のAからDの文は、古代ギリシア・ローマ時代の哲学者たちの教育についての思想をそれぞれ説明している。その人物名の組合せとして正しいものを、下のAからEの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- A 真の知恵とはよき市民として生きるための徳であると考えた。そして、そのような知恵は自分の無知を自覚した上で、教師との対話に助けられながらも、自分自身の力で生み出さなければならぬと述べた。
- B 雄弁家の使命は国家に有益な知識を伝えることだと考えた。雄弁家となるためには、哲学、歴史、法律、制度、習慣など人間生活に関する知識とともに、喜怒哀楽など人間感情に関する知識も身に付け、常に弁舌の修練を積み重ねなければならぬと述べた。
- C 人間の幸福は理性を働かせて行為を支配することによって実現されると考えた。そして、そのためには、教育を通じて、理性によって行為を支配することを繰り返して習慣化することが必要であると述べた。
- D 理想的な国家の在り方について構想した。その中で、子供を生まれもった素質に応じて、治者、戦士、庶民の三階級に分けて教育し、それぞれに知恵、勇気、節制という徳を育て、三者が調和することで国家全体で正義の徳が実現すると述べた。

	A	B	C	D
ア	クインティリアヌス	ソクラテス	プロタゴラス	キケロ
イ	ソクラテス	キケロ	アリストテレス	プラトン
ウ	アリストテレス	クインティリアヌス	プラトン	ソクラテス
エ	プラトン	プロタゴラス	キケロ	アリストテレス

問 2 次の文は、江戸時代に書かれた教育に関する著作の一節である。この著作の著者名と著作名の組合せとして正しいものを、下のAからEの中から一つ選んで記号で答えなさい。

〔人ニ教ル之法、予メスルヲ以テ急ト為ス〕

- ア 伊藤仁斎——『童子問』
- イ 安藤昌益——『自然真営道』
- ウ 中江藤樹——『翁問答』
- エ 貝原益軒——『和俗童子訓』

問 3 デューイ (Dewey, J.) についての説明として適切ではないものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 教科の構造の根幹となる知識を、その発見過程の追体験的な学習によって習得させることにより、子供たちに知的優秀性を形成することを主張した。

イ 科学的な洞察が活発になされ、人間の歴史的発展の認識へと導かれるような活動を、子供たちの仕事(オキュペーション)とすることを提唱した。

ウ 学校を子供たちによる「小型の共同社会、胎芽的な社会」とすることによって、学校の生活と民主主義社会の生活を連続させることを主張した。

エ シカゴ大学附属実験学校において、教育実践を通じて自らの教育学の理論を実験・検証した。

問 4 次の文は、「教育基本法」(平成18年12月22日法律第120号)の条文である。文中の から に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

第1条 教育は、人格の完成を目指し、 で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに な国民の育成を期して行われなければならない。

第3条 国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

第4条 すべて国民は、ひとしく、その に応じた教育を受ける機会を与えられなければならない。人種、信条、性別、社会的身分、経済的地位又は門地によって、教育上差別されない。

	①	②	③	④
ア	平等	健康	一生	学力
イ	平和	健康	生涯	能力
ウ	平等	健全	生涯	希望
エ	平和	健全	一生	意欲

問 5 次の文は、「教育基本法」(平成 18 年 12 月 22 日法律第 120 号)及び「教育公務員特例法」(昭和 24 年 1 月 12 日法律第 1 号)の条文である。文中の ① から ④ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

教育基本法

第 9 条 法律に定める学校の教員は、自己の崇高な ① を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。

教育公務員特例法

第 22 条第 2 項 教員は、授業に支障のない限り、② の承認を受けて、③ 研修を行うことができる。

第 22 条第 3 項 教育公務員は、任命権者の定めるところにより、現職のままで、④ 研修を受けることができる。

	①	②	③	④
ア 使 命	本属長	勤務場所を離れて	長期にわたる	
イ 目 標	本属長	勤務場所において	大学等における	
ウ 目 標	学校の設置者	勤務場所を離れて	教育委員会等における	
エ 使 命	学校の設置者	勤務場所において	生涯にわたる	

問 6 次の文は、「学校教育法」(昭和 22 年 3 月 31 日法律第 26 号)及び「学校教育法施行規則」(昭和 22 年 5 月 23 日文部省令第 11 号)に関する説明である。同法の規定に照らし誤っているものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 保護者は、子に 9 年の普通教育を受けさせる義務を負う。
- イ 小学校は、能力に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする。
- ウ 小学校では、各学年の課程の修了又は卒業を認める際に、児童の平素の成績を評価して行う。
- エ 小学校の学年は、4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

問 7 次の文は、『小学校学習指導要領』(平成 20 年文部科学省告示第 27 号)の「第 1 章 総則 第 1 教育課程編成の一般方針」の一部である。文中の ① から ④ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

学校の教育活動を進めるに当たっては、各学校において、児童に ① ことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、 ② させ、これらを活用して課題を解決するために必要な ③ をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、 ④ 教育の充実に努めなければならない。

- ア ① 個性を生かす
② 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得
③ コミュニケーション能力
④ 生きる力をはぐくむ
- イ ① 生きる力をはぐくむ
② 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得
③ 思考力、判断力、表現力その他の能力
④ 個性を生かす
- ウ ① 生きる力をはぐくむ
② 言語活動を充実
③ コミュニケーション能力
④ 個性を生かす
- エ ① 個性を生かす
② 言語活動を充実
③ 思考力、判断力、表現力その他の能力
④ 生きる力をはぐくむ

問 8 次の文は、『小学校学習指導要領』(平成 20 年文部科学省告示第 27 号)の「第 1 章 総則 第 4 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項」の一部である。文中の ① から ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

児童の ① などを積極的に評価するとともに、② の過程や成果を評価し、指導の改善を行い ③ の向上に生かすようにすること。

	①	②	③
ア	よい点や成長の状況	指 導	指導方法
イ	進歩や改善の状況	学 習	学習意欲
ウ	よい点や進歩の状況	指 導	学習意欲
エ	よい点や改善の状況	学 習	指導方法

問 9 次の文は、『生徒指導提要』(平成 22 年 3 月)で述べられているいじめに関する説明の一部である。文中の ① から ④ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

いじめは ① の延長上で生じ、当該行為がいじめか否かの逸脱性の判定が難しいところに特徴があります。文部科学省の「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の定義では、いじめは、昭和 60 年以来「自分より弱い者に対して一方的に、身体的・心理的な攻撃を継続的に加え、相手が深刻な苦痛を感じているもの」としてきましたが、その後、平成 18 年に「② から、心理的・物理的な攻撃を受けたことにより、精神的苦痛を感じているもの」と変更されました。いじめられる側の精神的・身体的苦痛の認知として見直すことで、児童生徒がいじめを認知しやすいようにしたものと考えられます。しかし、従来の調査基準にみられる、いじめは力の優位—劣位の関係に基づく力の乱用であり、攻撃が一過性でなく ③ して行われるという指摘は、いじめの本質を的確に突いています。そのために、いじめられる児童生徒は加害者を訴え出る意欲を奪われ、④ に陥ってしまいかねないのです。

	①	②	③	④
ア	学校生活	同じ学級に在籍する者	断 続	無力感
イ	日常生活	同じ学級に在籍する者	反復継続	不登校
ウ	学校生活	一定の人間関係のある者	断 続	不登校
エ	日常生活	一定の人間関係のある者	反復継続	無力感

問10 次の文は、ある人物について述べたものである。その人物名として最も適切なものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

施設において育った子供に関する研究の中で母性的な養育の^{はくたつ}剥奪(マターナル・デプリベーション)が子供に及ぼす影響についてまとめ、これをもとに、幼少期に主たる養育者との間に情緒的な結び付き、すなわち愛着(アタッチメント)を形成することが後の発達において重要であると述べた。

- ア フロイト(Freud, S.)
- イ エリクソン(Erikson, E. H.)
- ウ ゲゼル(Gesell, A. L.)
- エ ボウルビィ(Bowlby, J.)

問11 次の表は、ブルーム(Bloom, B. S.)が中心となって編集された『Handbook on formative and summative evaluation of student learning』の中で示されている三つの教育評価に関する表を抜粋したもの(一部省略を含む)である。表中の ① から ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	①	②	③
機能	クラス分け： ——必要とされる技能があるかないかの確認 ——あらかじめ習得されているレベルの確認 ——各種の教授方式に関係があると思われる様々な特性による生徒の分類 持続的な学習上の問題点の底にある原因の確認	生徒の学習の進展に関する教師と生徒へのフィードバック 治療的な指導の方針をはっきりさせることができるよう単元の構造の中で誤りを位置づけること	単元、学期、課程の終わりに、単位を認定したり成績をつけたりすること
実施時期	クラス分けのためには、単元、学期、学年が始まる時 通常の教授によっては十分学習できないことが一貫して明らか場合には教授活動の進行中	教授活動の進行中	単元、学期、学年の終了時

- | | | |
|---------|-------|-------|
| ① | ② | ③ |
| ア 診断的評価 | 相互評価 | 到達度評価 |
| イ 個人内評価 | 形成的評価 | 到達度評価 |
| ウ 診断的評価 | 形成的評価 | 総括的評価 |
| エ 個人内評価 | 相互評価 | 総括的評価 |

問12 次の文は、ある学習現象について説明したものである。この現象の名称として最も適切なものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

かなり成熟した状態で孵化する離巢性の鳥類の雛が、孵化後の短い間に目にした「動くもの」に対して接近反応や後追い反応を示すこと。親だけでなく、他の動物や動くおもちゃを目にした場合であっても反応が形成される。反応が成立した後に、接近反応や後追い反応を行う対象を変更することは困難であることが知られている。

- ア 生理的早産
- イ インプリンティング
- ウ 輻輳説
- エ 発達最近接領域

問13 次の文のうち正しいものを、アからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア プログラム学習とは、学習内容を体系化することで効果的な学習を促し、学習者の個人差に応じられるように構造化した学習方式であり、即時確認の原理やスモールステップの原理が含まれる。

イ 休憩を挟みながら学習する方法を分散学習というが、学習内容の難易度が高い場合には、休憩を挟まずに行う集中学習の方が、分散学習より学習効果が高い傾向にある。

ウ 洞察学習とは、ケーラー(Köhler, W.)によって提唱され、ネコの問題箱の実験から、試行錯誤によって学習が成立することを明らかにしたものである。

エ 学習の転移とは、先に学習した経験が後の学習や問題解決に対して影響を及ぼすことを指すが、先の学習は促進的な影響を及ぼすことが多く、妨害的な影響を及ぼすことは稀である。

問14 ロジャーズ(Rogers, C. R.)の提唱した来談者中心療法を説明する概念として誤っているものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 無条件の肯定的関心
- イ 自己一致
- ウ 指示的カウンセリング
- エ 共感的理解

問15 『小学校学習指導要領』(平成20年文部科学省告示第27号)の「第3章 道徳 第2 内容」は、四つの中心的な項目から構成されている。その中に含まれていないものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 主として自分自身に関すること。
- イ 主として他の人とのかかわりに関すること。
- ウ 主として自然や科学とのかかわりに関すること。
- エ 主として集団や社会とのかかわりに関すること。

問16 次の文は、『小学校学習指導要領』(平成20年文部科学省告示第27号)の「第4章 外国語活動 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の「2 (1)2学年間を通じ指導に当たっては、次のような点に配慮するものとする。」の一部である。文中の に当てはまる語句として正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

言葉によらないコミュニケーションの手段もコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、 などを取り上げ、その役割を理解させるようにすること。

- ア サイン
- イ マナー
- ウ 文字
- エ ジェスチャー

問17 次の文は、『小学校学習指導要領』(平成20年文部科学省告示第27号)の「第6章 特別活動」の「学校行事」の「目標」である。文中の ① から ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

学校行事を通して、望ましい ① を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、 ② を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする ③ を育てる。

- | | ① | ② | ③ |
|---|-------|-------------|-------------|
| ア | 人間関係 | 公共の精神 | 自主的, 実践的な態度 |
| イ | 公共の精神 | 自主的, 実践的な態度 | 社会性 |
| ウ | 生活態度 | 社会性 | 人間関係 |
| エ | 社会性 | 人間関係 | 公共の精神 |

問18 「児童虐待の防止等に関する法律」(平成12年5月24日法律第82号)では、学校の教職員、児童福祉施設の職員、病院の医師等は、児童虐待を発見しやすい立場にあることを自覚し、児童虐待の早期発見に努めなければならないことを定めている。児童虐待の発見・通告について最も適切なものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 虐待の疑いがある児童生徒を発見した場合、管理職(校長、副校長等)に報告の上、明確な虐待の証拠を発見する努力をしなければならない。

イ 虐待の疑いのある児童生徒に対しては、養護教諭やスクールカウンセラー等の専門性を有する者が対応をし、その他の教職員は、関わりを控える必要がある。

ウ 虐待の疑いがある児童生徒を発見した場合、速やかに市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所に通告しなければならない。

エ 虐待の疑いがある児童生徒を発見した場合、重篤なケースのみ児童相談所に通告し、それ以外は、市町村の福祉事務所に通告することとされている。

問19 『生徒指導提要』(平成22年3月)では、インターネットや携帯電話の普及に伴い、それらを巡るトラブルの概略や問題把握時の対応の基本等、児童生徒の情報活用能力の育成について述べられている。そこで述べられている内容として正しいものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 学校では、児童生徒間のインターネットや携帯電話でのトラブルを防止するため、校内外でそれらを一切使用させないように指導することが求められている。

イ 指導の際には、児童生徒自身が、被害者とならない、加害者とならない、加害行為に手を貸さない、という視点が大切である。

ウ 情報モラル教育を実施する際には、外部の専門機関と連携して実施することが望ましく、専門外である教職員による指導はでき得る限り控えなければならない。

エ 児童生徒に育成することが求められる「情報活用能力」とは、今後ますます進展するICT (Information and Communication Technology)に資する知識と技能のことである。

問20 平成25年8月に文部科学省から「体罰根絶に向けた取組の徹底について(通知)」が発出された。本通知では、体罰を未然に防止する組織的な取組、徹底した実態把握、体罰が起きた場合の早期対応及び再発防止策等について示されている。本通知に示された内容として適切ではないものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 学校の管理職は、指導が困難な児童生徒の対応を一部の教員に任せきりにしたり、特定の教員が抱え込んだりすることのないよう、組織的な指導を徹底すること。

イ 中学校及び高等学校では「部活動」において最も多くの体罰が報告されていること等に鑑み、部活動における体罰の防止について特に留意する必要があること。

ウ 学校の管理職は、教員が体罰や体罰と疑われる行為を行った場合に、教員が管理職等へ直ちに報告や相談を行う環境を整備すること。

エ 学校の管理職は、教員の行為が体罰や体罰と疑われる行為に該当するかを判断するために、教員の申出により、外部の有識者から構成される委員会を組織すること。